

# 手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年11月7日(水)発行  
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## “成長した姿”見せることができました！ 小中連携授業研究会

11月5日(月)には、本校を会場として「富田地区小中連携授業研究会」が開催されました。富田小、富田東小の先生方が来校され、授業を参観し、中学校の先生方との情報交換等を行いました。授業は、1年では3組の数学「比例と反比例」(國分先生)、4組の英語「ブラジルからきたサッカーコーチ」(鈴木薫先生)、6組の理科「身の回りの物質」(園部先生)、2年では3組の国語「知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ」(齋藤先生)、4組の社会「九州地方」(志田先生)の5つを公開し授業を観ていただきました。



1年6組理科



2年3組国語

どのクラスも思考ツールを活用しながらグループ学習等が展開され、積極的に授業に取り組む生徒達の姿がありました。授業参観された小学校の先生方も、久しぶりに見るその成長した姿に目を細めていました。

今後も小中連携を強化し、9年間のスパンで富田地区の子ども達を育てていくことの大切さを改めて実感することができました。



先生方の協議会

発表する水口君

## より活発な生徒会活動の実現をめざして

10月31日(水)、郡山市労働福祉会館において市内の生徒会役員が一堂に会し、生徒研究発表会・生徒会交歓会が行われました。本校からも会長の今野虹典君、副会長の水口瑛太君と松本空さん、書記の菅野明里さんの4名が参加しました。研究発表会では、水口君が「専門委員会活動の見直しと今後の在り方」というテーマで発表を行い、今野君、松本さん、菅野さんは「生徒会活動に生徒全員が自主的に関わるためにはどうすればよいか」というテーマに基づいた分科会の話し合いにおいて、司会と記録を担当しました。研究発表では、どの中学校からも聞きごたえのある発表があり、参加者全員が真剣に耳を傾けていました。交歓会では各分科会で建設的な意見が多くみられ、それぞれの学校に持ち帰り、よりよい生徒会活動へのヒントになったと思います。これからの富田中学校生徒会を担う4人にはとても充実した時間になったと思います。



司会・記録の3名

## 生徒作品の展示～富田ひがし地区文化祭～



11月3日(土)には、富田東地域公民館において、富田ひがし地区文化祭が開催されました。まさに“芸術の秋”。今年度も本校生徒の習字や美術の作品が展示されました。公民館に足を運んだ多くの地域の方々に観ていただくことができました。ありがとうございます。



## 吹奏楽部が演奏披露！富田交番ふれあいフェア

11月3日（土）抜けるような青空の下、第20回富田交番ふれあいフェア（郡山北地区交通安全協会富田支部設立40周年記念事業）が開催されました。本校の吹奏楽部1・2年生が、開会セレモニーに先立ちアトラクションとして、演奏を披露しました。

校歌、「コードブルー」、「ディズニーメドレー」の3曲を演奏し、訪れた方々から大きな拍手をいただきました。主催者の方々からも「素晴らしい演奏でした！」「フェアに花を添えてくれました！」と称賛のお言葉をいただきました。今回の吹奏楽部の演奏も意味のある“地域貢献”のひとつとなりました。

吹奏楽部のみんな、素敵な演奏、ありがとうございました！



「校歌」を歌い演奏する生徒達

## 「税についての作文」2年岡田さん 東北地区納税貯蓄組合連合会 会長賞受賞！

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する、中学生の「税についての作文」において、2年岡田彩音さんが『東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞』を受賞しました。これは、運動部にたてるなら、中体連の東北大会で入賞したことです。税金については、3年社会科公民で詳しく勉強しますが、2年生の岡田さんが自ら疑問点を調べ、東日本大震災や最近よく発生している災害に絡めながら自分の考えをしっかりとまとめた作文です。



### 「税金は笑顔をくれる」

2年1組 岡田 彩音

税金は私たちに笑顔をくれる大切なもの。私が税金に対してこう思うようになったのは、つい最近のことです。

今年の夏、大雨により川の氾濫などで、西日本を中心に大きな被害がでました。私はこのとき、ニュースで被災した人の元へ救援物資がたくさん運ばれているのを見ました。そのとき、その救援物資を受け取った人の中には「ありがたい」と大変な状況の中でも、笑顔をうかべる人もいました。その後、ああいった救援物資にかかるお金は誰が払っているのだろうと疑問に思い、調べてみると、各地で集められる募金の他にも、税金が使われていることを知りました。思い返してみれば、東日本大震災によって、私が住む福島県は大きな被害を受けました。震災直後は外で遊べなかったり、登下校のときにはマスクをつけなければいけなかったりと、大変な思いをしました。しかし、今私が住んでいる所は過去に震災があったことを感じさせないほど復興し、外でも元気に遊べるようにもなりました。このように、私たちの地域がこんなに復興できたのは、土壌の除染作業などにかかるお金を出してくれた税金のおかげでもあると思います。もし、税金がなく、福島県が復興できていなかったとしたら、私たちは今も安心して外で遊べなくなっていたかもしれないし、避難生活をしている人も今よりもっと多くなっていたと思います。このような災害の他にも、税金は警察署や消防署、病院、そして私たちの教育費にも使われています。こう考えてみると、税金は私たちの身の回りのことにたくさん使われていて、私たち国民の安心・安全を守り、笑顔にしてくれていることが分かります。

私が今払っている税金といえば、消費税くらいしかありません。そのため、私は小学生のときは税金のことをよく分かっていませんでした。だから、普段私たちが使っている教科書の裏に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう」と書かれていることは知っていましたが、その意味をよく分かっておらず、落書きをしてしまうこともありました。しかし、中学生になって、税金の大切さが分かるようになってからは教科書はもちろん、その他の税金によって作られているものも、大切に使うようになりました。

今、国で決められている三つの義務の中に「納税の義務」があります。だから、税金を納めるときに「ちょっと高いな」「できれば払いたくないな」などと思っても、義務だから仕方ないと納めている人も多いのではないのでしょうか。しかし、税金は結局、巡り巡って、違った形で私たちを笑顔にさせています。だから、これから税金を納めるときには、国のため、自分のため、と思って、しっかり納税したいです。